

記 者 発 表 （資料配布）				
月 日	担当課 (班名)	T E L	発表者 (担当主幹名)	その他 発表先
12/25 (月)	体育保健課 (保健安全・食育班)	(内線) 5780 078-362-3789	課長 升川 清則 (主幹 田村 純一)	

平成 29 年度公立小・中学校における体育大会（運動会）での組体操事故等調査まとめ

標記の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

- 1 調査実施期間 平成 29 年 11 月 9 日～12 月 4 日
- 2 対 象 県内公立小・中学校 <神戸市除く>
(平成 29 年度実施の体育大会(運動会)当日及び練習期間)
- 3 調 査 結 果 別紙のとおり
- 4 概 要

ピラミッド・タワーについては、重傷事故はピラミッドでは小学校で 3 件（2 段、3 段、6 段）中学校で 2 件（4 段、5 段）、タワーでは小学校で 2 件（2 段、4 段）中学校で 4 件（2 段 2 件、3 段 2 件）の計 11 件（昨年比 2 件減）と減少したが、微減にとどまった。

一方、補助倒立等の少人数で行う種目の重傷事故は小学校で 18 件、中学校で 15 件（昨年比 7 件増）と増加している。

※重傷事故とは 30 日以上に加療が必要なケガ
- 5 今 後 の 取 組

引き続き事故防止のために「組体操での事故防止に向けた指導上の留意点（平成 28 年 3 月 29 日記者発表資料）」を踏まえ、①今年度の取組を検証し、指導体制等が整わない場合は中止や種目の変更を検討すること、②次年度実施する場合は、指導者研修を積極的に開催するなどの対策を講じ、事故防止・安全確保を最優先するよう平成 29 年 12 月 25 日付けで各学校に対して通知した。

また、ピラミッド・タワーの指導法はもとより、重傷事故が増加している少人数の種目についても、一人一人の安全意識を高めたり、補助の体制を整えるなど、指導方法について、研修会を通じて周知していく。

<参考>

 - ・市町教育委員会担当者向け研修会（平成 30 年 1 月 30 日）
 - ・教職員向け安全指導者研修会（平成 30 年 2 月 8 日）

平成29年度公立小・中学校における体育大会（運動会）での組体操事故等調査まとめ

1 平成29年度の実施状況

※（ ）内はH28調査

区分	小学校		中学校		合計	
学校数	588校	(593校)	260校	(260校)	848校	(853校)
実施校数	509校	(522校)	147校	(162校)	656校	(684校)
実施率	86.6%	(88.0%)	56.5%	(62.3%)	77.4%	(80.2%)

2 ピラミッド・タワーの実施状況（段数は各学校で演技する最高段数である）

小学校		ピラミッド						タワー					
		実施校数		事故件数		重傷件数<内数>		実施校数		事故件数		重傷件数<内数>	
実施 段 数	2 段	16校	(11校)	1件	(0件)	1件	(0件)	62校	(56校)	1件	(2件)	1件	(0件)
	3 段	266校	(243校)	11件	(5件)	1件	(1件)	208校	(229校)	13件	(13件)	0件	(3件)
	4 段	62校	(94校)	3件	(5件)	0件	(0件)	103校	(103校)	6件	(11件)	1件	(0件)
	5 段	49校	(68校)	3件	(3件)	0件	(0件)	18校	(19校)	1件	(2件)	0件	(0件)
	6 段	40校	(36校)	2件	(0件)	1件	(0件)						
	7 段	9校	(20校)	0件	(2件)	0件	(0件)						
	8 段	0校	(0校)	0件	(0件)	0件	(0件)						
合計		442校	(472校)	20件	(15件)	3件	(1件)	391校	(407校)	21件	(28件)	2件	(3件)
平均段数		3.68段	(3.86段)					3.20段	(3.21段)				
H28段数比較		同じ	302校	下げた	90校	上げた	50校	同じ	297校	下げた	52校	上げた	42校

中学校		ピラミッド						タワー					
		実施校数		事故件数		重傷件数<内数>		実施校数		事故件数		重傷件数<内数>	
実施 段 数	2 段	0校	0校	0件	(0件)	0件	(0件)	13校	(8校)	6件	(0件)	2件	(0件)
	3 段	15校	(12校)	0件	(0件)	0件	(0件)	46校	(55校)	13件	(14件)	2件	(1件)
	4 段	10校	(16校)	2件	(0件)	1件	(0件)	22校	(24校)	7件	(1件)	0件	(0件)
	5 段	49校	(50校)	33件	(16件)	1件	(4件)	30校	(34校)	8件	(10件)	0件	(0件)
	6 段	13校	(20校)	1件	(7件)	0件	(2件)						
	7 段	36校	(34校)	5件	(6件)	0件	(0件)						
	8 段	12校	(16校)	9件	(7件)	0件	(2件)						
	9 段	0校	(3校)	0件	(3件)	0件	(0件)						
	10段	0校	(0校)	0件	(0件)	0件	(0件)						
合計		135校	(151校)	50件	(39件)	2件	(8件)	111校	(121校)	34件	(25件)	4件	(1件)
平均段数		5.60段	(5.72段)					3.62段	(3.69段)				
H28段数比較		同じ	99校	下げた	24校	上げた	12校	同じ	90校	下げた	12校	上げた	9校

3 種目別事故発生件数及び重傷件数

区分		小学校				中学校			
項目		事故件数		重傷件数<内数>		事故件数		重傷件数<内数>	
種 目	ピラミッド	20	(15)	3	(1)	50	(39)	2	(8)
	タワー	21	(28)	2	(3)	34	(25)	4	(1)
	補助倒立	41	(36)	4	(3)	8	(6)	0	(0)
	電柱	3	(3)	0	(0)	23	(22)	4	(4)
	サボテン	31	(46)	1	(2)	19	(8)	1	(1)
	飛行機	4	(8)	0	(0)	6	(7)	3	(1)
	人間起し	11	(11)	0	(1)	7	(7)	2	(0)
	その他	93	(69)	13	(6)	51	(42)	7	(9)
	合計	224	(216)	23	(16)	198	(156)	23	(24)

※ 事故発生件数は、日本スポーツ振興センターへの申請件数

4 ピラミッド・タワーにおける重傷事故原因

	種目	段数	段数の昨年比	負傷の種類	原因
小 学 校	ピラミッド	6	同じ	軟骨損傷	安全に配慮した段階的指導ができなかった
	ピラミッド	2	下げた	右足指骨折	ルールや約束事が守れなかった
	ピラミッド	3	同じ	左手舟状骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった
	タワー	2	同じ	左手舟状骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった
	タワー	4	同じ	右橈骨骨折	安全に配慮した段階的指導ができなかった
中 学 校	ピラミッド	5	同じ	右手首骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった
	ピラミッド	4	同じ	右手首骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった
	タワー	3	同じ	左腕尺骨剥離骨折	ルールや約束事が守れなかった
	タワー	3	同じ	右手首骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった
	タワー	2	同じ	右手舟状骨骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった
	タワー	2	同じ	右腕骨折	安全に実施できる指導体制が構築できなかった